

## 資料B

### あなたならどうする？



#### 場面1 (低学年用)

つぎのはなしをよんで、かんがえましょう。

こうじさん、たけしさんのふたりでいえにかえっていたときのことです。こうじさんが、とつぜんせきをしました。

こうじさん 「ごほん、ごほん、ごほん」

たけしさん 「やめてよ。こっちむいてせきするの。・・・・・・・・・・。」

#### 指導のポイント

場面1では、児童の素直な気持ちを引き出し、クラスの実態をつかむことが大切です。その中で、マスクをつける、ハンカチ等で口・鼻を覆う、袖で口をおさえる等の発言があった場合は、咳エチケットの大切さをクラスみんなで共有させます。たけしさんをせめるような発言があった場合には、「その言い方はどうかな～」と児童に投げかけ、場面2につなげていきます。

#### 場面2 (低学年用)

つぎのはなしをよんで、かんがえましょう。

こうじさん、まことさん、わたしの3にんでいえにかえっていたときのことで。こうじさんが、とつぜんせきをしました。

こうじさん 「ごほん、ごほん、ごほん」

たけしさん 「やめてよ。こっちむいてせきするの。マスクもはずして  
しき。せきがでるのは、コロナにかかっているからでしょ」

わたし 「・・・・・・・・・・。」



#### 指導のポイント

学級の実態に合わせて、場面2の1、場面2の2を選んで学習を進めます。場面2の1では、さまざまな考えが出てくることが予想されます。発達段階を考えると、どの考えも認めることが大切ですが、医学的な根拠もなく、決めつけた見方をするおかしさに気付かせることが重要です。また、わたしの発言を聞いたこうじさん、たけしさんの立場になって二人がどう思ったのか考えさせる活動も大切です。場面2の2では、○をつけた言葉に挙手をさせ、選んだ理由を聞く活動を取り入れます。選択肢とは違う言葉を言いたい児童がいれば、取り上げ、そう考えた理由を発表させる活動も考えられます。

※指導にあたっては、ワークシートを活用したり学習集団を工夫したりするなど発達段階や学級の実態に合わせた対応をお願いします。